

科目コード	14010	授業科目	日本語表現法 (Japanese Language Communication)			担当教員	○喜屋武政勝(非常勤) 伊狩典子(非常勤) 山城紀子(非常勤)							
開講年次	1年次 後期	単位数	2単位	科目分類	教養科目	授業形態	演習							
選択必修	必修	時間数	60時間											
履修条件	前提科目	なし												
	その他	なし												
授業概要	社会生活や職業生活においてスムーズなコミュニケーションをとるために欠かせない日本語による話し方について学習する。特に、形式と目的に合った簡潔・明瞭、正確かつ論理的に表現する方法を学ぶ。また、うちなーぐち（沖縄の方言）の表現の特徴についても学習する。													
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の考えを日本語で的確に表現し、相手に伝えることができる。 2. 場面に合わせて適切な文体や敬語を使うことができる。 3. 医療の現場で起こっている事象を当事者の目線で知る。 4. 当事者の語りから看護職としての表現を学ぶ。 5. 目的にあった正確かつ論理的に表現する表現方法を習得する。 													
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態							
第1回	日本語の特徴①語彙の体系（語彙をゆたかに）				プリント	喜屋武	講義・演習							
第2回	日本語の特徴②語彙の体系（まとめ、練習）													
第3回	日本語の特徴③文法の体系（品詞、「てにをは」）													
第4回	日本語の特徴④文法の体系（「は」と「が」）													
第5回	日本語の特徴⑤音韻の体系（音節と単音、音声と音韻）													
第6回	日本語の音声表現①読みと分析「絵本」													
第7回	日本語の音声表現②感想の交流													
第8回	日本語の音声表現③発表、表現読み													
第9回	日本語の音声表現④読みと分析、感想の交流「詩3編」													
第10回	日本語の音声表現⑤発表、表現読み													
第11回	日本語の音声表現⑥敬語の基本													
第12回	日本語の音声表現⑦敬語の使い方・間違いやすい敬語													
第13回	沖縄方言入門（簡単なあいさつことば）													
第14回	沖縄方言の表現①（よく使う沖縄方言の表現）													
第15回	沖縄方言の表現②（健康・体調不良に関わる表現）													
第16回	医療における老人医療の位置と医療従事者の老人観				プリント	山城								
第17回	「縛る」老人医療の背景													
第18回	抑制神話の崩壊と医療現場の現実													
第19・20回	「何もわからない人」についての考察 (精神障害者や老人福祉・医療の取材を通して)													
第21・22回	患者に添った医療 (1) (2)													
第23・24回	医療従事者と患者のコミュニケーションのズレ													
第25・26回	インフォームド・コンセント 説明義務と患者の権利													
第27・28回	当事者主体の医療やケアに対する表現													
第29回	討議・これまでの復習													
第30回	まとめ													
テキスト	基本的にプリントを使用（喜屋武） 配布資料（伊狩） 「人を不幸にしない医療～患者・家族・医療者」岩波書店（山城）													

参考文献	野田尚史・森口稔(2004)『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房 稲福盛輝(1992)『医学沖縄語辞典』ロマン書房 「沖縄が長寿でなくなる日〈食〉、〈健康〉、〈生き方〉を見つめなおす」岩波書店
他科目との 関連	授業科目全般
成績評価 の方法	授業参加状況 10%、学習参加状況 10%、試験 80% (喜屋武、伊狩) 授業参加状況 10%、学習参加状況・課題レポート 20%、試験 70% (山城)
学習相談・ 助言体制	小テスト、受講メモの取り組みや、スピーチやインタビューなど、次回の授業のための準備 をしてもらい、授業内外での学習活動を促す。 沖縄方言による会話を暗唱できるように指導する。
授業改善の 特記事項	グループ活動を多用することにより、授業を活性化するとともに、ともに助け合いながら、 学び合う姿勢を育てる。 沖縄方言による会話例を講義資料として配付する。
備考	なし

科目 コード	14141	授業 科目	英 語 I (English I)			担当 教員	○山城綾子			
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	演 習			
選択必修	必 修	時間数	60時間							
履修 条件	前提科目	なし								
	その他	なし								
授業概要	日常生活や様々な場面で必要とされる英語の表現法を学び、インプット（聴く）からアウトプット（話す）まで効果的に学習する。またコミュニケーションには不可欠な異文化理解も意識しながら総合的な英語力を身につけられるよう学習する。									
到達目標	1. 会話表現で用いる基本的な語彙を習得できる。 2. 基礎的な文法を理解し、実際の会話で活用できる。 3. 異文化理解を深めながら、自分の考えや意見を英語で表現できる。									
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態			
第1・2回	Introduction + Lesson 1 & Quiz 1 & Task 1 Introducing the main characters & World map What's the purpose of your visit?				P. 4-9	山 城	演 習			
第3・4回	Lesson 2+3 & Quiz 2+3 & Task 2+3 How much is it? + When is the next train to Xi'an?				P. 10-13					
第5・6回	Lesson 4+5 & Quiz 4+5 & Task 4+5 The TV is broken. + What is there to see?				P. 14-17					
第7・8回	Review Test 1 (Lesson 1-5) Destination 1 The U.S.A.				P. 8-17 P. 18-19					
第9・10回	Lesson 6+7 & Quiz 6+7 & Task 6+7 I'd like to rent a snowboard, please. Tell me about your country.				P. 20-23					
第11・12回	Lesson 8+9 & Quiz 8+9 & Task 8+9 How was your weekend? + Does it hurt?				P. 24-27					
第13・14回	Lesson 10 & Quiz & Task 10 + Review Test 2 (Lesson 6-10) I'd like a cup of coffee, please.				P. 20-29					
第15・16回	Destination 2 Canada + Lesson 11 & Quiz & Task 11 Would you like to visit the Temple of Heaven?				P. 30-33					
第17・18回	Lesson 12+13 & Quiz 12+13 & Task 12+13 I want to send an attachment. I'd like a chicken sandwich, please.				P. 34-37					
第19・20回	Lesson 14+15 & Quiz 14+15 & Task 14+15 Go straight along this road. Have you been to the Great Wall yet?				P. 38-41					
第21・22回	Review Test 3 (Lesson 11-15) Destination 3 China				P. 32-41 P. 42-43					
第23・24回	Lesson 16+17 & Quiz 16+17 & Task 16+17 Excuse me. Can you help us? I don't think this is right.				P. 44-47					
第25・26回	Lesson 18+19 & Quiz 18+19 & Task 18+19 Keep in touch! + Did you pack this bag yourself?				P. 48-51					
第27・28回	Lesson 20 & Quiz & Task 20 + Review Test 4(Lesson 16-20) Are you going snowboarding again?				P. 52-53 P. 44-53					
第29・30回	Destination 4 Australia Preliminary exercises for the final Final Examination				P. 54-55 P. 8-53					
テキスト	"Passport 2" Oxford University Press									

参考文献	授業中に適宜紹介する。
他科目との 関連	保健・看護・医療の基礎的コミュニケーションを学ぶ英語 II に向けて語彙、文法の基礎固めとする。
成績評価 の方法	定期試験 (30%) 小テスト (20%) クイズ (20%) 課題 (10%) 授業参加状況 (20%)
学習相談・ 助言体制	各授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充する資料を配付する。視聴覚教材も適宜使用する。
備 考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 教員の免許状 (養護教諭二種) 取得のための必修科目

科目 コード	14142	授業 科目	英語Ⅱ (EnglishⅡ)			担当 教員	○山城綾子			
開講年次	1年次	後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	演習		
選択必修	必修	時間数	60時間							
履修 条件	前提科目	なし								
	その他	なし								
授業概要	英語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、保健・看護・医療に関する基礎的なコミュニケーションを学習する。									
到達目標	1. 基礎的な専門用語を習得できる。 2. 言語と文化の関係を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 3. 様々な場面や状況に即した対応を、英語を用いてスムーズにできる。									
授業回数	授業内容及び計画					事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1・2回	Introduction & Unit 1 First Visit to a Hospital					P. 1-5	山城	演習		
第3・4回	Quiz 1 & Unit 2 How to Fill in a Registration Form					P. 6-10				
第5・6回	Quiz 2 & Unit 3 Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities					P. 11-15				
第7・8回	Quiz 3 & Unit 4 Mr. Brown's Symptoms					P. 16-20				
第9・10回	Quiz 4 & Unit 5 Medical Checkup 1					P. 21-25				
第11・12回	Quiz 5 & Unit 6 Medical Checkup 2					P. 26-30				
第13・14回	Quiz 6 & Unit 7 Mr. Brown's Diagnosis					P. 31-35				
第15・16回	Quiz 7 & Unit 8 Mr. Anderson's Symptoms					P. 36-40				
第17・18回	Quiz 8 & Unit 9 Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms					P. 41-45				
第19・20回	Quiz 9 & Unit 10 Explaining Blood Test Results					P. 46-50				
第21・22回	Quiz 10 & Unit 11 How to Take Medicine					P. 51-55				
第23・24回	Quiz 11 & Unit 12 Mrs. Johnson Feels Dizzy					P. 56-60				
第25・26回	Quiz 12 & Unit 13 An MRI Test					P. 61-65				
第27・28回	Quiz 13 & Unit 14 Recommending an Operation					P. 66-70				
第29・30回	Quiz 14+15 & Lesson 15 Post-operative Care Final Examination					P. 71-75				
テキスト	"First Aid!" 金星堂									
参考文献	授業中に適宜紹介する。									
他科目との 関連	英語Ⅰで習得した語彙や文法を土台にしつつ、専門関連科目で得た知識を生かし、看護・保健・医療分野の基礎的英語を学ぶ。									

成績評価の方法	定期試験（30%）クイズ（20%）課題（20%）授業参加状況（30%）
学習相談・助言体制	各授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の特記事項	テキスト内容を補充する資料を配付する。視聴覚教材も適宜使用する。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 英語でのコミュニケーションについて理解を深める。 学生の積極的参加が求められる。

科目 コード	14143	授業 科目	英語Ⅲ (EnglishⅢ)			担当 教員	○山城綾子	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	読む、書くことを中心に英語を学習する。一般英文記事を読み、英文を正確に、かつ効果的に理解し、自分の意見を英語の文章で論説的に表現することを学習する。							
到達目標	1. 英文を読み、書くのに必要な基礎的語彙力を習得できる。 2. 英文を読み、書くのに必要な基本的文法を理解し使うことができる。 3. 様々な場面やトピックに合わせて英語で記述できる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	Introduction & Chapter 1 Pop Star Arrested for Possession of Tobacco				P. 2-5	山 城	講 義	
第2回	Quiz 1 & Chapter 2 + Task 1 Ten Percent of Japan's Population Foreign -born				P. 6-9			
第3回	Quiz 2 & Chapter 3 + Task 2 Chinese Now More Popular Than English				P. 10-13			
第4回	Quiz 3 & Chapter 4 + Task 3 Japan's New BRIC Tax				P. 14-17			
第5回	Quiz 4 & Chapter 5 + Task 4 Japan Becomes First Host Country Not to Win Olympic Medal				P. 18-21			
第6回	Quiz 5 & Chapter 6 + Task 5 Japanese Are Dying Younger				P. 22-25			
第7回	Quiz 6 & Chapter 7 + Task 6 Chinese Characters Disappearing				P. 26-29			
第8回	Quiz 7 & Chapter 8 + Task 7 Japan's Final Gasoline-powered Car Manufactured Today				P. 30-33			
第9回	Quiz 8 & Chapter 9 + Task 8 Japanese Sumo Wrestler Wins Tournament for First Time in 10 Years				P. 34-37			
第10回	Quiz 9 & Chapter 10 + Task 9 Tropical Menu Big Hit in Tokyo Due to Heat Island Effect				P. 38-41			
第11回	Quiz 10 & Chapter 11 + Task 10 Japan's Schools Now Must Accept Turbans, Veils, and Daggers				P. 42-45			
第12回	Quiz 11 & Chapter 12 + Task 11 Japan Becoming a Class-Based Society				P. 46-49			
第13回	Quiz 12 & Chapter 13 + Task 12 Consumption Tax Hits 20%				P. 50-53			
第14回	Quiz 13 & Chapter 14 + Task 13 Woman Sues Fast Food Chain for Making Her Fat				P. 54-57			
第15回	Quiz 14 & Chapter 15 Street Crime Hits New Low; High-tech Crime Increases Final Examination				P. 58-61			
テキスト	"Newsflash Japan 2020" Macmillan Languagehouse							
参考文献	講義中に適宜紹介する。							
他科目との 関連	英語Ⅰ、英語Ⅱで培った語彙・文法を生かし、リーディングとライティング強化を図り、英語Ⅳへの導入とする。							

成績評価の方法	定期試験（30%）小テスト（20%）課題（20%）授業参加状況（30%）
学習相談・助言体制	各授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の特記事項	テキスト内容を補充する資料を配付する。視聴覚教材も適宜使用する。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 ハワイ研修セミナー参加及び課題提出により英語Ⅲ（2単位）の認定を行う。

科目 コード	14144	授業 科目	英 語 IV (English IV)			担当 教員	○山城綾子	
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	英語で書かれた国内外の文献を読み、構造や理論展開を理解することで、より高度な読解力を養い、またアカデミック・ライティングについても学習する。							
到達目標	1. 豊富な語彙力を身につけ、辞書を使いながら幅広い分野の英文を読むことができる。 2. 比較的長い文章の構造や意味を理解できる。 3. 読み取った内容を批判的思考(critical thinking)で理解し、自分の意見を表現できる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	Introduction & Unit 1 & Practice 1				P. 2-11	山 城	講義	
第2回	Reading 1: The Popularity of Social Networks Unit 1 & Task 1				P. 12-21			
第3回	Reading 2: A Song Becomes a Hit Unit 2 & Practice 2				P. 22-29			
第4回	Reading 1: How Colors Make Us Think and Feel Unit 2 & Task 2				P. 30-41			
第5回	Reading 2: The Importance of Color in Business Unit 3 & Practice 3				P. 42-49			
第6回	Reading 1: Being Polite from Culture to Culture Unit 3 & Task 3				P. 50-61			
第7回	Reading 2: Answers to All Your Travel Questions Unit 4 & Practice 4				P. 62-69			
第8回	Reading 1: Money and Sports Unit 4 & Task 4				P. 70-81			
第9回	Reading 2: The Fastest Man on No Legs Unit 5 & Practice 5				P. 82-89			
第10回	Reading 1: Family Unity Builds Success Unit 5 & Task 5				P. 90-101			
第11回	Reading 2: The Challenge of Running a Family Business Unit 6 & Practice 6				P. 102-110			
第12回	Reading 1: Memo to Restaurant Servers Unit 6 & Task 6				P. 110-121			
第13回	Reading 2: I Hate Machines Unit 7 & Practice 7				P. 122-130			
第14回	Reading 1: Think Before You Toss Unit 7 & Task 7				P. 131-141			
第15回	Reading 2: In Praise of a Throwaway Society Review Final Examination							
テキスト	“Q: Skills for Success” Oxford University Press							
参考文献	講義中に適宜指示する。							
他科目との 関連	英語Ⅰ～Ⅲで学んだ語彙・文法を活用して総合的な力を養う。							

成績評価の方法	定期試験（30％）小テスト（20％）課題（20％）授業参加状況（30％）
学習相談・助言体制	各授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の特記事項	視聴覚教材を適宜使用する。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。

科目 コード	14211	授業 科目	中国語 I (Chinese I)			担当 教員	○上江洲基(非常勤)	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	中国語の発音や文法を学ぶと同時に、日常生活や様々な場面で必要とされる中国語表現を学習する。また、異文化を理解できるよう中国語圏の文化についても学習する。							
到達目標	1. 「声調」の把握：「四声」・第一声・第二声・第三声・第四声・轻声。 2. 発音の把握：①子韻 2 1 ケと単母韻、その他の複合母韻と組み合わせての練習 ②ピンインを完全に読み書き出来るようにする。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回	中国語はどういう言語か。漢字はどういう文字か。 声調（四声）・単母音・ピンインについて 声調の練習・子音 発音の練習・声調（第3声）の練習 第一課「あなたは日本人ですか」 第二課「お茶を飲みます」 第三課（形容詞述語文） これまでの復習（声調・発音・ピンインの理解） 中国映画鑑賞 中国映画鑑賞 第四課(代名詞名詞)・映画で聞き取れたフレーズの 解釈 第五課（所有を表す「有」と数詞 中国現代事情（雑誌の記すを参考にして） 中国時事のレポートを書く 期末テスト 期末テストの講評と前期のまとめ				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上江洲	講義	
テキスト	初回講義で指示する。							
参考文献	講義中に紹介する。							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	試験 70%、提出物・発表 30%							
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。							
備 考	エチケットを守ること。学生らしくない服装厳禁。 本講義は初学者のための「中国語」の講義である。中国語は独学することは絶対に不可能な言語であるから、どのように中国語を学ぶかの手解きをする。同時に現代および歴史的中国の事例を紹介しながら、今日の抱えている諸問題について考え意見交換を図りたい。諸君達は将来の日本を担う若者であるから、日頃からそのようなニュース等に関心を払い、このような問題には真剣に取り組むように心がけていただきたい。							

科目 コード	14212	授業 科目	中国語Ⅱ (ChineseⅡ)			担当 教員	○上江洲基(非常勤)				
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義				
選択必修	選 択	時間数	30時間								
履修 条件	前提科目	なし									
	その他	中国語Ⅰを履修した者を対象とする。									
授業概要	中国語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、中国語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、中国語の応用表現を学習する。										
到達目標	1. 中国語Ⅰで学習したことを着実に自分のものにする。「声調」と「発音」の完全把握。 2. 単文の中国語作文が出来るように語彙をふやす。										
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態				
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回	第六課・第七課 第八課 第九課 第十課 第十一課 中国映画鑑賞 〃 第十二課 第十三課 第十四課 第十五課 中国語検定過去問題練習 〃 〃 期末テスト 期末テストの講評と前期のまとめ		場所指示代詞 名詞+的+名詞 金銭の単位 能願動詞“想”“要” 動詞の“在”+場所詞 方位詞、場所詞 動詞の重ね型 動詞+時間量詞		事前、事後学習 や学習課題に ついては、各講 義時に説明す る。	上江洲	講義				
テキスト	初回講義で指示する。										
参考文献	講義中に紹介する。										
他科目との関 連	授業科目全般										
成績評価 の方法	試験70%、提出物・発表30%										
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。										
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。										
備 考	辞書必携、NHK、ラジオの「中国語講座」を講義と平行して学ぶこと。										

科目 コード	14311	授業 科目	スペイン語 I (Spanish I)			担当 教員	○福地恭子(非常勤)		
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義		
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	スペイン語の基礎文法を学習すると同時に、日常会話やさまざまな場面で必要とされるスペイン語表現を学習する。また、異文化を理解できるようスペイン語圏の文化についても学習する。								
到達目標	実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。 タスク：看護師が患者の問診を取る活動								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	スペイン語の概要, アルファベット, 簡単な挨拶 発音, アクセント 発音, アクセント 発音, アクセント お水をお願いします (名詞の性と数) はじめまして、武田カナです(動詞serの直説法現在) 看護師の田中さんですか? (動詞serの直説法現在) 妊娠4ヶ月です (動詞estarの直説法現在, 基数詞1~10) 内科はどこですか? (動詞estarの直説法現在) スペイン語を少し話します (直説法現在の-ar動詞) アルコールを飲みません (直説法現在の-er動詞) 那覇に住んでいます (直説法現在の-ir動詞) 看護師が患者の問診を取る (スペイン語Iのまとめ) 口頭試験A (問診) 口頭試験B (問診)				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	福 地	講義		
テキスト	高橋覚二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ? -初級スペイン語, 看護・医療系語彙を中心に-』朝日出版社 2009年 2,100円								
参考文献	中萩エルザ著『暮らしの医学用語辞典 (西和/和西)』インターナショナル・プレス 3,600円								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	小テスト 40%、口頭試験 40%、授業への参加態度 20%								
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	本講義は、看護・医療系スペイン語である。スペイン語の基礎文法また医療機関での患者と話すための会話を学習する。スペイン語はスペインのみならず中南米やアフリカなど約四億人の人々によって話されている言語である。現在、日本には中南米からの移住者が増加し、スペイン語の需要が高まっている。講義を通して、スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。								

科目 コード	14312	授業 科目	スペイン語Ⅱ (SpanishⅡ)			担当 教員	○福地恭子(非常勤)		
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義		
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	スペイン語Ⅰを履修した者を対象とする。							
授業概要	スペイン語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、スペイン語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、スペイン語の応用表現を学習する。								
到達目標	実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。 タスク：看護師が医師と患者の通訳をする活動								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	スペイン語Ⅰの復習① スペイン語Ⅰの復習② 水が飲みたいです(直説法現在の不規則動詞querer) 小児科に行きます(直説法現在の不規則動詞ir) よく眠れません(直説法現在の不規則動詞poder) 何かアレルギーはありますか?(直説法現在の不規則動詞tener①) 入院しなければいけません(直説法現在の不規則動詞tener②) 私にそれを下さい(目的格人称代名詞) 甘いものが好きです(gustar) お腹が痛いです(doler) 手を洗います(再帰動詞) 上着を脱いで下さい(命令) 看護師が医師と患者の通訳をする(スペイン語Ⅰ・Ⅱのまとめ) 口頭試験A(通訳) 口頭試験B(通訳)				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	福 地	講義		
テキスト	高橋覚二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ?ー初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心にー』朝日出版社 2009年 2,100円								
参考文献	中萩エルザ著『暮らしの医学用語辞典(西和/和西)』インターナショナル・プレス 3,600円								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	小テスト40%、口頭試験40%、授業への参加態度20%								
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	本講義は、看護・医療系スペイン語である。スペイン語Ⅰで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいく。スペイン語ⅠとⅡで修得した表現を用い、スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。								

科目コード	40011	授業科目	看護大学ゼミナール I (OPCN Seminar I)			担当教員	○金城芳秀 安谷屋均 新城正紀 渡久山朝裕 佐久川政吉 仲宗根洋子 賀数いづみ 大川嶺子		
開講年次	1年次 前期	単位数	1単位	科目分類	教養科目	授業形態	演習		
選択必修	必修	時間数	30時間						
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	<p>学生が身近に感じている問題を取り上げ、その解決に主体的に取り組む過程を通して、自らを総合的に振り返り、客観的に自分の強みと弱み、そして能動的学習能力に気づく。また、問題の発見と解決のための必要なあらゆる情報収集、図書・文献検索、論文読解、報告書作成、そしてチームワークの基本を学ぶ。この科目は少人数制教育により行い、情報リテラシーを身につける。</p>								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身近に起こっている問題をチームで絞り込むことができる。 2. 絞り込む過程では、多様な情報収集を行うことができる。 3. 図書・文献検索から、学術的情報にアクセスすることができる。 4. 自分の意見が言え、他者の意見が聞ける。 5. 自分の意見と他者の意見との違いを認めることができる。 6. チームの一員として自分の役割を見つけることができる。 7. チームの一員としてレポートの作成に参画できる。 8. チームの一員としてプレゼンテーションに参画できる。 9. チームとして個人として活動を振り返ることができる。 								
授業回数	授業内容及び計画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5・6回 第7回 第8・9回 第10・11回 第12回 第13回 第14回 第15回	ゼミナールIの導入（演習ノートの説明） チーム別自己紹介 大学の教育環境・資源 “身近な問題”を話し合う “身近な問題”からテーマを考える 活動計画を立てる（学術情報にアクセス） テーマ、活動計画の中間報告 学習活動の実施 活動結果の整理・分析 活動レポートの作成 プレゼンテーション資料の作成 プレゼンテーション（ポスター展示） 振り返り（チーム別）				附属図書館、 情報処理学習室、 ならびに教員の 活用	金城 安谷屋 新城 渡久山 佐久川 仲宗根 賀数 大川	演習		
テキスト	演習ノート（個人ならびにチームにおける学習活動のガイド）								
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ●フレッシュマンセミナーテキスト．大学新入生のための学び方ワークブック．第2版 初年次教育テキスト編集委員会編．東京電機大学出版局．2014年． ●KITIE（慶應義塾大学の「情報リテラシー」習得のためのウェブチュートリアルシステム） http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/ ●ティップス先生からの7つの提案 学生編 名古屋大学高等教育研究センター http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seven/student/index.html 								
他科目との関連	情報リテラシーの基礎づくり科目であることから、全ての科目の導入となる。								

成績評価の方法	ポートフォリオ（学習・活動資料等のファイリング）を個人評価に用いる資料とする（60%） ポスタープレゼンテーションをチーム評価に用いる資料とする（40%）。
学習相談・助言体制	適宜、オフィスアワー（教員と学生が気軽に話せる場所と機会）を設ける。 学習相談等を通して把握した学習ニーズは必要に応じて教員と学生の双方向で共有する。
授業改善の特記事項	演習ノートを基にポートフォリオ“あなたの学習活動の足跡”を発展的に作成する。
備考	学習時間を確保できるように、アルバイトやサークル等の時間管理を行なうこと。